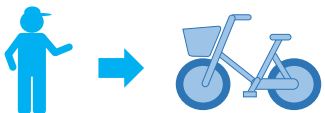


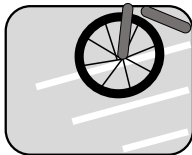


定期的な見回り ➡

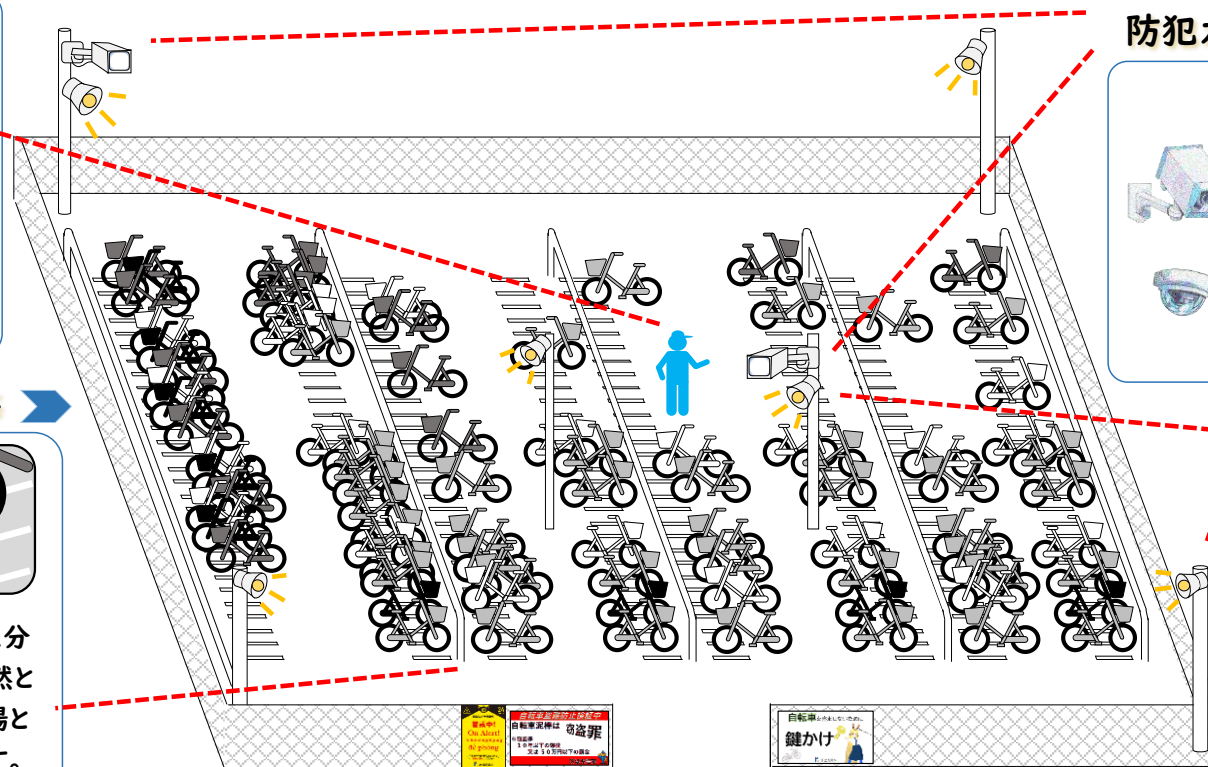
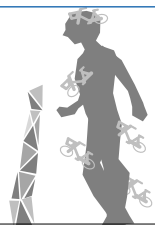


こまめに見回りをして、管理が行き届いていると思わせ、犯行を行わせないようにしましょう。
利用者に対して施錠を促す声かけも効果的です。

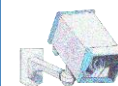
サイクルラック、白線等 ➡



サイクルラックや白線等で駐車区分を明確にすることで、自転車が整然と並びやすくなり、管理された駐輪場という印象を持たせることができます。
また、自転車を施錠する際にも、固定されたサイクルラック等に結束することで、自転車を容易に持ち出せなくなります。



防犯カメラ ➡

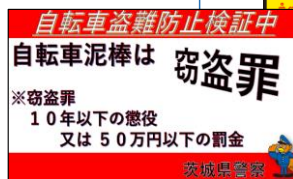


カメラの存在を知らせること、犯行を諦めさせるなどの効果が期待できます。
手の届かない目立つ場所に設置し、「防犯カメラ設置中」などの明示をすると効果的です。

照明 ➡

明るい場所では、犯行が行いにくくなります。
夜間でも人の行動が見える程度の明るさを確保しましょう。

掲示物等による啓発・警告 ➡



泥棒に対しては、監視中と認識させる大きなポスターなどが有効です。
警戒・見回りをしていることや、防犯カメラや警報器を設置しているなど、盗むと捕まるかもしれないと思わせ、犯行を諦めさせましょう。
また、利用者に対して、掲示物による施錠を促す啓発も大切です。

音声機器 ➡

ポスター等の視覚に訴える掲示物に音声を加えることで、高い啓発効果が期待できます。
音声機器を、出入口等に設置して、利用者に対する鍵かけの注意喚起や、犯人に対して警告をすることができます。